

THE

Lion

336-C 1R.3Z. FUKUYAMA SHIN ICHI

6

June
2015

福山新市ライオンズクラブ会報
2014.7~2015.6

336-C地区ガバナースローガン
『”原点から再出発”

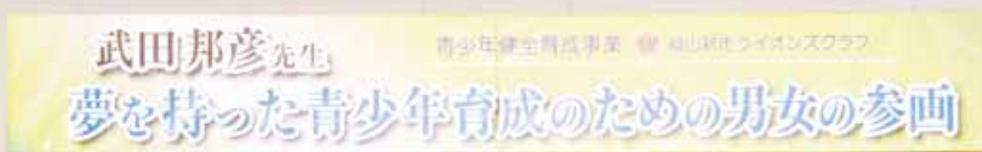
We Serve -改革への挑戦-』

ガバナー 松尾 敏弘

福山新市L.C.会長スローガン

『地域に愛と奉仕と感謝』

会長 小川 一利





8月17日 素戔鳴神社奉仕清掃



9月14日 少女フットベースボール大会



10月10日 愛の献血



『一年を振り返って』

会長 小川 一利

「地域に愛と奉仕と感謝」をスローガンに掲げスタートさせて頂きました。私たちライオンズクラブのモットーはウィサーブ（我々は奉仕する）でありますから支援活動の時には、楽しく奉仕の活動をして参りました。アクティビティとして子どもたちの健やかな成長を願って「少年野球大会」「フットベースボール大会」「薬物乱用防止教室」また、清掃奉仕活動や献血運動、講演会など支援の輪も広がり、地域社会に対する奉仕活動に全力を上げて参りました。ライオンズの教えである社会への貢献を通し、ライオンズの絆を通してこの組織の一員であることの誇りを高めたことで、一人ひとりがライオンズの精神を改めて肝に銘じて奉仕に取り組むことの大切さを身を持って体験出来ました。あれもしたい！これもしたい！と構想はつきませんでした。なかなか実現にいたりませんでした。会員の多くの皆様のお力添えで福山新市ライオンズクラブ会員の結束力の強さと底力を改めて再認識することが出来ました事に心から感謝申し上げたいと思います。皆さん本当に、ありがとうございました。



『幹事職を終えるにあたり』

幹事 出原 正晴

昨年の3月に第1回の理事会を開催してから、本文を寄稿している本日まで1年以上が経過しました。

幹事職の任を仰せつかった際は、この時期をある意味楽しみに待っておりましたが、自分なりにこの1年を振り返ってみたいと思います。



小川会長の元、昨年7月1日にライオンズの新年度がスタートの日は、社屋を新市から福山に移転して会社を新体制でスタートの日でもありました。

会社の移転作業が、ライオンズ活動に影響をしないよう5月から移転作業を開始し、GWも含めて1日も休みなく進めましたが、物事は思うように進まず移転直後に来社された方からは、「7月1日の移転で間違いなかったですね？」と言われるような状態でした。

その中で、事務局にも特段の事情がない限りは週3回は出向くようにし、理事会、例会の運営にも徐々になれ、今となっては社屋移転も大きな問題もなく終わることが出来ました。

それはもちろん私だけの力ではなく、殊にライオンズ活動については、日々、事務局にお越しいただく、小川会長の良く言えば「応援隊」悪く言えば「イジリ隊」（悪気はありません会長お許しを。）の皆様方のご助言、各委員長の前倒しでの行動、そして事務局の畝川さんも満足な引き継ぎのないまま、少なからず不安の中業務を開始されたと思いますが、今まで培ってこられた高いスキルで、全くの取り越し苦労になったことも私にとって大きなサポートになりました。

本文寄稿の時点で残り任期も約2ヶ月となってきましたが、小川会長の明るく強運のキャラクターのもと、総じて楽しく幹事職を務めることが出来、今後、幹事職の依頼を受ける皆様方には、生意気ではありませんが「何とかなるもんですよ」とエールを送らせていただきます。

次期、一色会長、岡田幹事、楨本会計の3役は、いつお会いしても笑顔を絶やされることなく、クラブ内の私の中では「グッドスマイル3トップ」で、今以上に明るいクラブ運営がされますこと期待しております。

会社業務と違う緊張感の中でライオンズ活動を出来たことは、社会人1年生のような新鮮な気持ちにもさせていただき、私にとりまして貴重な1年となりましたこと、小川会長はじめ皆様方に改めて深謝いたします。

『一年を振り返って』

第一副会長 一色 浩之

歴史と伝統ある福山新市ライオンズクラブの会長をお引き受けし、責任の重さに気が引き締まる思いがします。

私は1995.10.20一宮さんの早朝清掃例会にて入会式をして頂き、早くも20年が経ちました。その間多くの方々との出会いがあり、奉仕活動を通じて地域社会とのつながりを持つなど、たくさんの事を学ぶことが出来ました。



現在、世界的においては低年齢化における傷害事件や殺人事件等、殺伐とした出来事が多くなりました。私達が子供の頃のように近所のおじさん、おばさん達との声掛けが少なく、世間との関わり合いがなくなったのが原因でしょうか？

わずかでも人を思いやる気持ちがあればやさしくなれるとの思いから、本年度のスローガン「人におもいやり 地域に感謝 We Serve」を掲げました。

岡田幹事、楨本会計と力を合わせ頑張っていきたいと思います。

この一年間皆様の御協力をよろしくお願い致します。

『次期幹事職を拝命するにあたり』

次期幹事 岡田 哲也

次期幹事を仰せつかりました、岡田哲也です。今までは、委員長、テーマー、副幹事など、努めてまいりましたが、幹事の職をするとは思っていませんでした。(私はまだまだ幹事なんて出来る立場にないと思っておりましたから) お声をかけて頂いた時は、幹事の仕事とは？なんだろう、どうすればいい？何をすればいい？とか色々なことを考えました。また私の仕事、会社、家庭、子ども、私の周りを取り巻く環境、どうバランスを取ればいいのか？かなり考えました。



しかし、お声をかけて頂くことは光栄なことだと思い、また、自分の勉強にもなります、今までにない環境も経験出来、色々な方にも出会えることと思います。次期役員を承認頂いたあとは、先輩方にアドバイスを頂き、幹事の仕事をお教えたいただきました。何となくですが先が見えてきたように思います。私自身、未熟ですが、皆様のご支援を頂きながら、頑張っていこうと思います。

メンバーの皆様方、1年間、50年以上

の歴史ある福山新市ライオンズクラブの幹事として頑張ります。至らない点が多々あるかと思いますが、一色会長をサポートし、クラブ運営が今までと変わらず出来ませうよう頑張ってみますので皆様方のご支援の程よろしくお願い致します。

『ゾーン・チェアパーソンを終えるに当たり』

1 R. 3 Z. Z C 山名 作太

次年度よりリジョン・ゾーンの編成替えがスタートします。そして3 Zは二つのゾーンが一緒になり10クラブ460名という336C地区最大のゾーンとなりました。そのためスタートに当たり二つのゾーンの行事の統一が必要となります。そこで12月の初めにR Z C・Z Cの4名で行事の照らし合わせを行いました。地域が広範になることにより伝統、習慣、そして考え方に大変な違いがあることがわかりました。そのため10クラブの会長、幹事が二度集まり意見の交換を行い、最後にはそれを踏まえたR Z C・Z Cの考えに一任するという事でまとまりました。その中で特に地区役員(R Z C. Z C. 各委員)のローテーション、またどのクラブからスタートするのか？(小人数のクラブでは大役を受ける余裕がない・・・)ゾーン会計はどうするのか等々・・・大変難しい調整です。

結局各ゾーンで長い伝統の上に築かれた大変すばらしい行事や習慣のほとんどを止めなければなりません。それはクラブ数会員数が多くなることによって負担が



大きくなり過ぎるということです。まだこれから1 R 2 Rの合同新旧役員引継会が行われますが本当に細部までの話し合いはできていませんが、まずキャビネット要請の行事、ガバナー公式訪問、ガバナー諮問委員会そして合同例会、Z Cのクラブ訪問は行い、その方法は次期役員の方で行い、順次改善を重ねて、新しい3 Zに合ったやり方を見つけるということです。そのためには各クラブの協力が必要なのでよろしくをお願いします。

今年一年間ゾーン・チェアパーソンとして本当に色々な経験をさせていただきました。特に編成替えと云うことで大変面白く思い出に残る一年となりました。またZ C Aとして伊豆田康博さんにはお世話になりました。本当に有難うございました。

『一年を振り返って』

情報会則・指導力育成委員会
委員長 寺岡 豊

情報会則委員長を務めるにあたり、18年ほど前にこの委員会の大改革が行われたことを思い出しました。

福山新市ライオンズクラブは、結成当時からすばらしい人材を有し、見識の高いクラブであったことはまちがいありません。しかし、ともすれば一部のカリスマと会長経験者（情報会則委員会）によって、理事会の議決さえも変える程の強い権力をもっていたようです。それがこの大改革により、会長を中心として理事会また委員会等が健全に機能する現在の形になり、名実ともにより素晴らしいクラブに生まれかわったと思っています。



私もそういう福山新市ライオンズクラブのメンバーである事に誇りを持っています。

これからも情報会則委員会は規則等を定めることを専管事項と認識し、さらに今までの経験を生かし存在感のある委員会でありたいと私は思います。そして会長又理事会のよき相談役として、控え目なアドバイザーの役割を果たして行くのが良いと思います。

あと2ヶ月ほどで任期も終わりになります。委員会をはじめ、メンバーの皆様のご協力により無事勤めを果たせそうです。一年間有難うございました。

『一年を振り返って』

会員委員会 委員長 楨本 克司

2014年7月より会員委員長の大役を受け1年が経とうとしています。現在2名の新会員の入会に至っています。2014年10月に藤本正登さん、2015年1月に平田敏行さんの入会を頂きました。私自身、会員委員長の活動としては何も解らずゼロからのスタートとなってしまいました。

ライオンズでの新会員の勧誘は永遠のテーマであり、永久に継続していくことだということを改めて実感いたしました。

勧誘活動をどこから始めたらよいのか、事務局へ毎日のように通いました。小川会長、出原幹事をはじめ、諸先輩方のアドバイスを頂くとともに、メンバー全員の勧誘活動も積極的に行って頂き、感謝の念に堪えません。



三顧の礼を尽くせば何とかかなると思ひ活動を始めましたが、そんな簡単なことではなかったのです。準備不足もありました。ライオンズクラブへの入会に際して何をアピールポイントにするのか。メリットは何か。一人ひとり勧誘に行くたびに新たな壁にぶつかったように思います。入会も退会

も大きな力が必要なことも学びました。

336-C地区1R・1Z・2Z・3Z合同によるゾーンレベル会員委員会の開催も3回あり、事前アンケートに回答する形式で行われました。他のクラブとも新会員の勧誘は、積極的に行われておりビックリ。新会員加入目標をクリアされているクラブ、できていないクラブとさまざまでしたが、同じ問題点を抱えていることも認識できました。

会員委員長を務めさせて頂き、ライオンズクラブの奥が深いことも知り、福山新市ライオンズクラブが培ってきた歴史と伝統の重みも再認識いたしました。この一年間、メンバーの皆様方のお力を無くしてはできなかったと思います。メンバー全員のご協力本当に有難うございました。

『キャビネット変革の節目の 地区委員を終えて』

1R地区PR・ライオンズ情報・IT委員会
委員 藤岡 孝二

今年度ガバナースローガン「改革への挑戦」を掲げ、松尾ガバナーをはじめとしてキャビネット関係役員の方は、大変な作業と心労の日々に明け暮れた事と拝察致します。結果として、大いなる改革の成果としての改善が、次年度より随所で見受けられる事を期待して止みません。

振り返って我が身の事を申し上げますと、地区大会を終えるまで今年度委員会の開催が一度も無く、地区役員の皆様方の労苦を思う時、申し訳なさで身の置所に戸惑いを覚

える昨今です。しかしながらキャビネット構成員の一員として、十指に余る各種会合には欠かさず出席をさせて頂き、然も登録料としてクラブより貴重な財源の拠出をも頂きました。年度末にはこうした有名無実化した実態に大鉈を振るわれるのであろうと、この身をして期待を致しております。但し、これはあくまでも私の所属する委員会の事であります。他の委員会については私の知る由もありません。

さて、去る4月5日に開催された第61回地区年次大会において、キャビネットガバナーから上程された11号議案12号議案が分科会及び代議員総会において反対多数により否決されました。大勢の先輩関係者に尋ねたところ、前代未聞との事です。誌面の関係上詳しくは説明しかねますが、



端的に云って手続きと手順に沿って為されていなかった事のようにです。近年の336複合地区大会においても同様の事が、同様の事由によっておきているようです。嘆かわしく思っているのは、私だけでしょうか？

最後になりましたが、次年度より3Zは4クラブから10クラブ460名余りの大所帯に変貌いたします。ライオンズ必携の則を越えた大改革が、果たして瀕死に陥っ

て久しいキャビネット改革に起死回生の一策として著しい変革と改善を齎^{もたら}せるか、メンバー各位が他所事でなく関心を以って見守って頂ける事を希って、期待とも皮肉ともつかない拙い寄稿になりました事をお詫びして、今期地区委員の所感に代えさせて頂きます。

『一年を振り返って』

計画委員会 委員長 下江 正泰

メンバーの皆様 一年間ありがとうございました。とりわけ、小川会長、出原幹事におかれましては、ご尽力いただき感謝の念でいっぱいです。委員会の皆様には、福山ニューキャッスルの食事について、いろいろご意見をいただき、食事の好みは十人十色なのだとあらためて勉強させられました。



今年度は12月の同伴例会のアトラクションとして、福山市立大学の学生にお願いして若い人のパワーをもらう事を目的としました。学生の皆様の披露の場も作れた事は、地域への貢献という面からも非常に良いアクティビティであったと感じております。

近年入会者の皆様への5分間スピーチに

おきまして、発表者の方々に、深く御礼を申し上げます。人前で話す事に慣れておられる方々ばかりですが、敢えてこういう場を設けさせていただきましたのは、社内でいつも訓辞ばかり話しておられる昨今、初心に戻る機会をと、単純な表題にさせていただきました。いかがだったでしょう。

最終例会がまだ残っておりますが、最後まで努めて参りたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

『一年を振り返って』

YCE・教育国際委員会
委員長 桑木 達也

本年度は小川会長の元、YCE・教育国際委員長という大役を仰せつかりました。

メインアクティビティである教育講演会、本年度で2年目を迎える国際平和ポスターコンテストへの参加を初め、例年の継続アクティビティを中心に開催をさせていただきました。どのアクティビティも対外的なものであり、様々な方々との交流を通して、長い間、福山新市ライオンズクラブが培ってきたものを肌で感じさせていただきました。

また、委員長という役割のもと多くのメンバーの方々と接する機会も頂き大変有意義な時間を過ごす事が出来ました。

大きな失敗こそなく其々のアクティビティを終えることが出来た様に思いますが、「もっと上手く出来ただろう」と、自分の力不足というものを改めて気づかせて頂いたそんな一年でもあったように思います。

「誇りをもって過去を振り返り、希望を

もって未来を望む」これはライオンズクラブのマークの意味であると聞いた事があります。本年度に限らず、今、経験している事をこれからのライオンズクラブ活動に生かして行ければと感じております。



最後に、このような貴重な機会を与えてくださいました小川会長、出原幹事に感謝を申し上げますと共に、ご協力を頂きました全てのメンバーの皆様に心より御礼を申し上げます。報告とさせていただきます。ありがとうございました。

『一年を振り返って』

環境保全・安全福祉委員会
委員長 吉元 大裕

環境保全・安全福祉委員会の委員長という大役をさせていただき、思い返せばその役割を果たせたとはいえない部分もありましたが、多くの会員の皆様に支えられ何とかこの1年を終えることができます事をお礼申し上げます。

この委員会では、素盞鳴神社での清掃奉仕、愛の献血活動、グランドゴルフ大会、薬物乱用防止教室、社会福祉協議会への寄

付、新一年生へのランドセルカバーの寄贈といった活動を担当させていただきました。



毎回、委員会開催の時には、所属していただいたメンバーの皆様に非常に高い出席率で参加をしていただき、そして的確なアドバイスをいただきまして、引き締まった雰囲気での委員会運営をすることができました。活動を行う中でライオンズを少しは理解できてきたと思いますし、私にとって本当に良い経験をさせていただいたことに心より感謝しております。

この役職によって培うことのできた知識や新たな人との結びつきを大切に、今後のライオンズ活動に励んでいきたいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。一年間どうもありがとうございました。

『一年を振り返って』

PR・IT資金獲得委員会
委員長 後藤 和弘

ライオンズクラブに入会させて頂いて丸一年が過ぎない間にPR・IT資金獲得委員

会の委員長を拝命しました。何も分からないままでの不安を抱えたスタートでしたが、伊豆田副会長、高橋理事、児玉副委員長を始めとするベテランの委員会メンバーさんの御助言と御協力を持ちまして何とか無事にゴール出来そうです。

他にも出原慎之さんにホームページの更新の御世話になりましたし、出原幹事さんにも私の出席できなかったアクティビティの写真を撮って頂いたりとクラブ全体でのフォロー体制に心より感謝申し上げます。

一年間、委員長と言う要職をさせて頂いて改めて福山新市ライオンズクラブのメンバー皆様の暖かい御支援を肌で感じました。こういうクラブだからこそ県内でも有数の会員の在籍するクラブになれたのではないのでしょうか。

本年の資金獲得商品は、会長のスローガン「地域に愛と奉仕と感謝」を取り入れまして地元、新市町の谷田精肉店のすき焼き用の牛肉を1キロ配布しました。配布方法まで委員会メンバーの議論噴出の中で生まれた案でした。

お蔭様で会員の皆様から大変好評を頂きました。私は委員会の先輩の言葉に従っただけでした。事務局の畝川さんも新任でしたがカメラと写真では大変御助力を頂きました。

最後に、私には福山新市ライオンズクラブが一段と好きになれた一年でした。

一年間を通じて指導を頂きました全会員皆様に心よりの御礼を申し上げます。

有難う御座いました。

新会員紹介



藤本 正登
藤本合同事務所

昨年10月に入会させていただきました、藤本です。

入会して早6ヶ月が過ぎようとしていますがまだまだ宙に浮いた状態で右も左も解りません。

父が、生前に新市ライオンズクラブにお世話になっていた関係で顔見知りの方もいらっしゃるようですので、一つ一つ教えていただき例会に出席している状態です。

父が亡くなった後、何回か勧誘を受けており辞退しておりましたが、一昨年息子が司法書士として事務所に入り事務所としても、今後も継続して営んでいけると思い、入会させていただきました。

さて家業の方は、昭和の時代に藤本代書として祖父宗一が現在地に開業し、父寛司が継ぎ、現在藤本合同事務所として士業を営んでおります。

又年齢も今年60才の節目となり、地域との関わりも深くなりクラブの理念である地域に奉仕をもとにライオンズ活動に精進したいと思っております。

まずは、例会出席100%をめざして努力いたしたい気持ちです。

今後とも諸先輩方の御指導、ご鞭撻をよろしく願いたします。



平田 敏行
株式会社中国銀行
新市支店

平成27年1月より入会させていただきました平田敏行でございます。

伝統ある福山新市ライオンズクラブに入会を認められ、誠に光栄に思っております。

平成26年7月に中国銀行新市支店に赴任し、現在諸先輩方に当地新市について少しずつご教示いただいているところですが、本クラブで奉仕を通じて地域にお役に立てる機会を与えていただき、大変感謝しております。

例会に積極的に参加し、「地域に愛と奉仕と感謝」を実践するための活動とは何か考えて、微力ながら精一杯努めてまいります。

今後とも、ご指導、ご鞭撻の程、よろしく願ひ申し上げます。





「弔 辞」

謹んで、小野修佑様のご霊前に福山新市ライオンズクラブの会員67名を代表して哀悼の誠を捧げます。

一昨日、朝突然あなたの訃報に接し驚愕の念禁じ得ません。ご家族の皆様的心情を思うと、お慰めの言葉もございません。

チャーターナイト50周年記念式典には、元気な姿でご参加いただき共に50周年を祝い、又小野さんのご尽力で友人の阿川泰子さんの特別出演をして頂き、祝宴に華を添えていただいたことを会員一同大変感謝いたしておりました。又6月17日小川次期会長さんとお見舞いに行った時は元気に話もできただけに余りにも早い死に残念です。私と小野さんとは、実兄の亘さんと同級生で幼い頃からお家にもお邪魔していましたし、成人してからもお互い年も1歳しか変わらず何かや御付き合いましたお世話になりました。一見穏やかにみえますが内に秘めた情熱は大変熱いものが伺えました。法政大学在学中にシェークスピアに目覚めるや否や、休学して単身しかもシベリア鉄道経由でイギリスに留学し、シェークスピア文学や劇に没頭され、帰国はニューヨークに立ち寄りさらに演劇の域を高められた訳であります。帰国されてからは文学座に所属し故松田優作や阿川泰子さんら劇団活動に励まれました。その後帰郷され、家業の繊維業から時代の先端を行くスイミング教室を開くべくビッグランスイミングを新市に開設されました。当時としては先駆的なスポーツ施設で、府中新市地区の人が興味をもって利用したものでした。又、出原

さんと共に就学前教育に新風を送るべく「すばる幼稚園」の開設にも奔走され、象を模した送迎バスの採用、英会話授業、ビッグランスイミングを利用しての水泳教室などを取り入れて地域の問題をおこしたものでした。こうした貴方の行動は、思いこんだら一途にやり遂げるといふ情熱と、故郷『新市の未来に夢とロマンを』という男小野修祐の面目躍如でありました。

修佑さんは1989年10月、新市ライオンズクラブに入会され、以来、数々のライオンズクラブに於ける要職に就かれ、1993年～94テールツイスター、1999年～00年ライオンテーマ、2001年から02年幹事、2009年から10年第47代会長として、25年間の永きにわたって独創的に発想行動され、会員からも一目も二目も置かれる存在でした。

修佑さんは、常に私事を顧みず献身的に地域へご尽力されてこられました。そのご功績は多くの人々の知るところでございます。参加されました数々の奉仕活動は、地域社会の文化向上に役立ち、しかも住みよい郷土づくりの一助として、末永く足跡を残すものと信じております。

修佑さん、自ら先頭に立ち、常に微笑みを絶やさず、情熱を持ってやさしくご指導をして下さり、その温厚で柔和な姿は、人々の尊敬を集めて参りました。まさにライオンと呼ばれるにふさわしい人でした。

私達は修佑さんの尊いご遺志を受け継ぎ、更にライオニズムの高揚に勤めて参りたいと思います。

今、こうして遺影の前に立ちますと「ニコッ」と笑い手を上げて挨拶をして下さったその笑顔をおぼろげに忘れることができません。

最後のお別れに臨み、生前の輝かしいご功績に感謝申し上げますと共に、ご冥福をお祈りして弔辞といたします。 合掌

平成26年6月28日

福山新市ライオンズクラブ
会長 藤原 平

1年間のアクティビティ

7月

- ・LCIF 20ドル61名送金
 - ・「626」ヤング街頭キャンペーンに参加
 - ・ダメ・ゼッタイ国際支援募金
- 合計金額 145,660 円

8月

- ・早朝例会前素戔鳴神社清掃奉仕
- 合計金額 9,700 円

9月

- ・LCIF 1,000ドル3名送金
 - ・第37回LC杯フットベースボール大会開催
 - ・第37回福山市立新市中央中学校
オータムコンサートの後援
 - ・広島県大規模土砂災害に義援金を送る
- 合計金額 882,000 円

10月

- ・お肉販売で資金獲得
 - ・第12回新市町交流剣道大会を後援
 - ・愛の献血奉仕 400CC 204名
- 合計金額 1,707,678 円

11月

- ・LCIF 1,000ドル1名送金
 - ・第38回LC杯少年野球大会開催
 - ・第11回LC杯ランドゴルフ大会開催
 - ・『武田邦彦先生』青少年健全育成講演会開催
 - ・国際平和ポスター展示 表彰
- 合計金額 1,418,108 円

12月

- ・第49回新市町内駅伝大会を後援
- 合計金額 50,000 円

1月

- ・戸手小学校で薬物乱用防止教室開催
- 合計金額 9,440 円

2月

- ・新市小学校で薬物乱用防止教室開催
 - ・社会福祉協議会へ
車椅子2台、ポーリングシャトル1セット
カードゲーム1セットを寄贈
- 合計金額 93,204 円

3月

- ・ランドセルカバー160枚贈る
- 合計金額 32,832 円

5月

- ・『愛と光と泉の箱』募金送金
- 合計金額 50,000 円

合	計	労件	13件
		金件	20件
金額合計		4,398,622 円	



11月3日 グランドゴルフ大会



11月3日 少年野球大会



11月16日 青少年健全育成講演会



11月16日 国際平和ポスターコンテスト



12月19日 忘年例会



12月19日 忘年例会



1月9日 新年例会

薬物乱用防止教室
(1月23日戸手小)
(2月3日新市小)



